

「ふじのくに森の防潮堤づくり」への資材寄付に対する紺綬褒章伝達式が実施されました

このたび、株式会社ノダは、紺綬褒章を受章し、2022年1月18日に静岡県庁において褒状伝達式が執り行われました。

なお、紺綬褒章は、公益のために私財を寄付した者を国として表彰するもので、当社は、静岡県が推進する「ふじのくに森の防潮堤づくり」に協力し、植栽木を潮風や砂から守る木杭材料として、2017年より当社富士川工場で合板を製造する際に発生する芯材（丸太の剥き芯）を寄贈しております（累計71,560本。2021年11月末現在）。

「ふじのくに森の防潮堤づくり」は、塩害や松くい虫被害により荒廃した海岸防災林を再生するため、枯損の進んだ地域を対象に静岡県および中東遠4市（磐田市、袋井市、掛川市、御前崎市）が取り組む事業です。



ふじのくに森の防潮堤（静岡県袋井市湊での海岸防災林再整備）

伝達式では、静岡県より「ふじのくに森の防潮堤づくり」で使用する材料の手配に苦勞していたが、御社より剥き芯の寄付をお申し出いただき大変助かりました。当初予定の6万本終了後も、計画延長に伴い継続して寄付をいただいています。今後もふじのくに森の防潮堤づくりへのご協力を、引き続きお願いいたします。」とのお言葉を頂戴いたしました。

本取り組みが貢献する SDGs の目標



株式会社ノダは、持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。



当社富士川工場で製造する合板は、静岡県産材の中でも間伐材を積極的に利用しており、静岡県の森林整備に貢献しています。そうした中、合板の製造過程で発生する芯材を防潮堤の資材として静岡県にご利用いただくことで、木材をさらに有効に活用できます。当社グループの石巻合板工業は、東日本大震災で大きな被害を受け、静岡の皆様にも多大な支援をいただき復興することができました。今回、津波のリスクを低減し、地域の安全に暮らせるまちづくりに貢献することでそのご恩を少しでもお返しできることは、私たちにとってとてもうれしいことです。

株式会社ノダは、今後も地域社会に資する取り組みを行い、引き続き社会貢献に努めるとともに、グループを挙げて国産材（間伐材や未利用材など）を積極的に活用することで、健全な森林の整備、CO2 削減、持続可能な森林循環に貢献し、また SDGs の達成に貢献してまいります。



紺綬褒章 褒状



芯材を加工した木杭



芯材の使用状況①



芯材の使用状況②